

116 令和6年1月1日 発行

Index

- 01 巻頭エッセイ
- 02 新年ご挨拶 札幌支部長 平塚 彰
- 03 新年ご挨拶 小樽商科大学学長 穴沢 眞
- **04** 【**40周年同期会**】 昭和 57 年卒
- 05 嶋谷カフェ×上川大雪酒造コラボレーション
- 06 札幌支部活動報告
- 08 OBS MBA 会報告
- **09** 商大ホームカミングパーティー / エバーグリーン講座
- 10 わたしの1枚
- 11 物故/編集後記 他
- 12 令和6年札幌支部

## 新年交礼会のご案内

#### ■編集■

SAPPORO

緑丘会札幌支部 総務広報部会 〒060-0005

札幌市中央区北5条西5丁目7 SAPPORO55ビル3階 小樽商科大学札幌サテライト内

■印刷■

岩橋印刷株式会社

緑丘会札幌支部 ホームページ http://www.ryokyukai.com/



# 巻頭リレーエッセイ

嬉しさ半分、もどかしさ半分

商大、そして応援団を卒業して1年半。

先日、4年ぶりとなる小樽開催の対面式に際し、同期の団長を通じて協力の要請がかかった。新型コロナで叶わなかった学ランとしての参加が、卒業後になって実現したのだ。

嬉しい反面、それは団員不足が故のこと。「変化の激しい世の中で、変わらぬスタイルを保つ」、これは本当に一筋縄ではいかないことであると改めて思い知らされた。私に出来るのは現役にウザがられない程度に支援をすること。しかし、私自身も人手不足の業界に飛び込んでしまったがために、仕事以外に割ける時間と気力があまりない。なんとかしなくては。



# 希望に溢れる新年を迎えて

緑丘会札幌支部 支部長 平 塚 彰 (昭和 57 年卒)



新年明けましておめでとうございます。

緑丘会札幌支部会員の皆様におかれましては、決意を新たに希望に溢れる新年をお迎えのことと推察いたします。日頃より支部の活動にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げますとともに、本年も母校発展のために皆様方のお力添えを心よりお願い申し上げる次第です。

昨年は新型コロナウイルス感染症が収束に向かう一方で、国内では度重なる自然災害、海外では戦争や紛争に苦しむ多くの緑丘の皆様方が暮らしておられ、深く憂慮するとともに心よりお見舞いを申し上げます。 一日も早く世界中に平和で穏やかな日々が訪れることを願うばかりです。

さて札幌支部ではこれまで、八十島副支部長、三宅 副支部長らを中心に緑丘オンラインセミナー、商大演 芸の会など、コロナ禍においても緑丘の絆を絶やすこ となく地道な活動を続けてまいりました。昨年6月には 緑丘祭に、緑丘会と現役学生をつなぐ商大サークル「緑 輝星」がギョーザカレーのお店を出店されまして、小 樽支部が中心になってご準備されたのですが、札幌支 部としてもそのお手伝いをさせて頂きました。これか らも我々札幌支部はこのような商大の数々のイベン ト、支部の催しに、いかに大勢の参加者を集め、交流を 深めるかを主眼に活動してまいります。同期や先輩、 後輩たちと杯を交わし、肩を組んで若人逍遥の歌や校 歌を歌うことで、自らの足跡を振り返り、人生の歓び を感じる機会を数多くつくってまいります。是非とも 皆様の引き続きのご協力をお願い申し上げます。

最後に私事で恐縮ですが、私は現役時代、準硬式野球部に所属しておりました。現役学生が昨年、春のインカレで3部優勝を果たし、入替戦も2連勝して念願の2部に昇格が決まりました。昨年が創部70周年であったこともあり、全国のOBOGに働きかけをして寄付金の募集を行いましたが、個別の部活の特定目的の寄付金に対しても、緑丘会本部を通す仕組みを用いることで所得の寄付控除を享受することができました。是非とも札幌支部会員の皆様方におかれましても、所属した部活・サークルなどへの積極的なご支援を切にお願いするものです。

札幌支部会員の皆様のご健勝と令和6年が素晴らし い年となりますよう祈念して新年のご挨拶とさせて頂 きます。



# 新しい連携の形

小樽商科大学学長 穴 沢

追



皆様新年明けましておめでとうございます。

本年が皆様にとって幸多き年でありますことを祈念 申し上げます。

さて、2022年4月に本学と帯広畜産大学、北見工業大学が経営統合し、北海道国立大学機構が発足してすでに2年近い月日が過ぎました。距離的に離れた、専門の異なる三つの国立単科大学の経営統合は初めてのケースであり、4年間の準備期間があったとはいえ、機構本部も設立当初は不慣れな部分や三大学のこれまでの事務処理の違いなど、すり合わせを要するものも多々ありました。本学においても事務の方々が8名機構本部に移ったこともあり、少ない人数で過渡的に増加した職務を果たすため、追加的な負担がかかった部署もありました。

しかしながら、時間の経過と職員の方々の努力により、徐々にではありますが状況は改善されてきました。 今後は当初の目的である、経営効率の向上により、経費を節減し、捻出された資金を三大学の教育や研究に費やしていきたいと思います。経営統合と同時に教育については教育イノベーションセンター、研究についてはオープンイノベーションセンターを創設し、三大学で教育、研究面で連携しています。特に教育については文理融合、異分野融合を標榜し、様々な科目を相互配信しています。2023年度は38科目が相互配信され、三大学の学生が多くの科目を履修しています。

国立大学は近年、急速に様々な形の連携を強化して います。群馬大学と宇都宮大学による共同教育学部の 設置、鹿児島大学と山口大学による獣医学部同士の連 携など、教育面での連携が進んでいます。また、より広 く、地域内での連携を進める動きが東北地域と新潟の 国立大学間や四国地域の国立大学間でも進んでいま す。

国立大学に配分される運営費交付金は毎年1%ずつ 削減され、他方で科学研究費などの競争的資金の獲得 が求められています。このような状況で、限られたリ ソースを有効に活用する手段を各大学が模索していま す。北海道国立大学機構もこのような流れの中でとら え直すことができます。

近年、大学間の連携はさらに加速し始めています。 九州地区の大学が九州大学を中心に研究面で協力する ことが公表されました。また、2023年9月には北海道内 の国立大学が連携を強める目的で北海道ユニバーシ ティ・アライアンスを立ち上げました。まずは研究面 での協力を強めることを出発点とし、北海道大学が研 究力強化のために他大学にリサーチアドミニストレー ターを派遣することを表明しています。将来的には教 育面での協力も視野に入れています。9月の北海道ユニ バーシティ・アライアンス発足時の会議では本学もユ ニバーサル・ユニバーシティ構想について報告を行い、 今後の教育面での道内国立大学の連携を呼びかけまし た。他の都府県と異なり県境などを越えた連携ではな く、オール北海道で協力しやすい環境もあります。国 立大学のもならず、公立大学、私立大学も参加した高 等教育と研究を牽引する大学間の連携が進むことを期 待しています。

# 昭和57年卒業 (昭和53年入学) 卒業40周年同期会開催

堀 内 智 江 (旧姓:小桧山) (昭和 57 年卒)

新型コロナ禍で1年遅れとなっていた卒業40周年記念同期会を、満を持して令和5年9月17日(日)小樽大和屋本店にて開催しました。私たち同期生は、卒業30周年、35周年、そして今回の40周年と節目節目で、青春時代を過ごした小樽に集って、思い出話や近況を語り合いながら一献交えております。

新型コロナが 5 類感染症に移行した初夏、早速幹事チームが開催準備に取りかかり、先ず所在がつかめていない方の連絡先の掘り起こし、これまで同期会に参加していない方へのメールやSNSを使った声かけを行いました。その結果、遠く関西、関東からの参加者もいて、45名の方が出席されました。同期会初参加の方も随分おられて、今後の同期会の行く末が明るいものとなりました。

当日は、平塚彰さんの名司会によりリラックスした 雰囲気で会が始まり、故人となられた同期生に黙祷、 着物がとてもお似合いの福井郁子さんより力強い幹事 代表挨拶があり、続いてお忙しい中出席していただい た穴沢眞学長より、大学の近況を交えてお祝いのお言 葉をいただきました。私たちより数年先輩の学長が 若々しいことに大変感銘いたしました。神戸から参加 の浦本美裕さんの乾杯の音頭で開宴し、しばし懐かし い顔ぶれと歓談した後、一人一人に近況報告を兼ねて 1分スピーチをしてもらいました。ここは幹事で工夫 した点ですが、ついつい長話になってしまうことを防

ごうと、1分で卓上ベルを鳴らして警告することとし ました。冷静な浅井克哉さんがベル係を引き受けてく れ、冷酷なまでに1分できっちりベルが鳴り、鳴らさ れた方が慌てて話をまとめようとさらに話が長くな り、再度ベルが鳴り響き、一同大笑いとなりました。こ れが功を奏して、皆一番話したいことを簡潔に要点押 さえて話すので、間延びせず全員の話を集中して楽し く聞くことができました。大学時代の部活やゼミ、定 年後の仕事や趣味、今興味を持っていること、家族の ことなど様々な話題で盛り上がりました。元応援団副 団長の沢口竜一さんの学生時代を彷彿させる口上に続 いて、若人逍遥の歌を斉唱。最後に横浜から参加の齊 藤公俊さんに、さすが部活が落語研究会という軽妙な 語り口で締めの挨拶をしていただき閉会となりまし た。二次会はいつものスナック「マルジェ尚」。その後、 石積尚幸さんがオーナーのワインバー「雪あかり」へ 流れた者もおりました。余談ですが、私、このお店の チーズにはまり1か月後に再訪してしまいました。

次回以降は5年毎ではなく1年早めて4年毎に開催 しようという声も上がり、同じように歳を重ねた同期 の皆さんと再会し、ちょっと一休みして自分の原点に 戻ってくるそんな同期会をこれからも続けていけたら と願う次第です。最後になりましたが緑丘会札幌支部 の皆様にはいつもご支援、ご協力いただきありがとう ございました。



# 嶋谷カフェ×上川大雪酒造 期間限定コラボレーション結果!!

上川大雪酒造株式会社 アンバサダー みずほ信託銀行株式会社 不動産業務部付 みずほ不動産販売株式会社 札幌センター 支店長 兼 所長 納 谷 征 憲 (平成 12 年卒)

2022年6月発行の緑丘さっぽろ113号の「ようこそ札幌支部へ」のコーナーに「商大や地域社会へ貢献したい」との思いを書かせていただきました。

今般、現役商大生が運営する「嶋谷カフェ」と商大 OBが会長、社長を務める「上川大雪酒造」のコラボレー ションをお手伝い(ボランティア)させて頂きました。

嶋谷カフェは、小樽市指定の歴史的建造物である旧 嶋谷倉庫を活用したカフェで、小樽の地域活性化に貢献したいとの学生の思いから23年4月末にオープンしました。上川大雪酒造は、日本酒を活用した地方創生 ビジネスのイノベーションを目指しています。

私は、OBとして現役商大生を応援したく、売上向上に役立てればと思い、一お客さんとして嶋谷カフェへ行ってみました。その際、接客してくれた学生さんに、自分がOBである旨を説明し、アンバサダーの名刺を差し出したところ、学生は上川大雪酒造ゼミを受講していたとの事で、「上川大雪酒造とコラボしたいと思っていました!」と言ってくれ、それをきっかけに23年7~8月の期間限定コラボレーションがスタートしました。

左から 生田涼華さん(院1年)、納谷、扇谷真由さん(4年)

互いの地域活性化と地方創生への思いが一致したので す。

学生発想の新商品 (JAL国内線ファーストクラスに 度々採用された日本酒をソフトクリームにかけたり、 甘酒をジュレにしたり)と上川大雪酒造の知名度が相 乗効果となり、SNSや北海道新聞掲載など話題となり ました。オープン直後の嶋谷カフェの5月総売上は、現 役商大生運営のカフェという話題性などで一定の実績 でしたが、6月には早くもダウン。しかし、コラボレー ションを開始した7月総売上は6月比で約2倍、8月総売 上は、同比で約3倍と飛躍的にアップしました。

更に、カフェ運営の学生達は、商大の繋がりで出来たこのコラボレーションに感謝し、小樽商科大学とOB会(公益財団法人小樽商科大学後援会)に売上の一部を寄付してくれました。現役生がOB企業とコラボし、店の認知度及び売上がアップし、その売上の一部を寄付するサイクルは、従来OBに頼っていた「大学への寄付」に関する「新しいバリューチェーン」であり、本内容は読売新聞にも掲載されました。

今後も微力ながら、商大、OB会、現役生との関係強化に尽力し、地域貢献、地方創生のお役に立てればありがたいです。





# 札幌支部活動報告

## ■令和 5 年 緑丘会札幌支部年次大会

本年は入場数の制限等もなく定時総会、 懇親会を企画させていただきました。 暑い中たくさんの方にご来場いただき 誠にありがとうございました。

定時総会につきましては、会務報告、 収支報告、予算案審議、役員改選と 会場満場一致によりすべて可決され、 滞りなく終了いたしました。



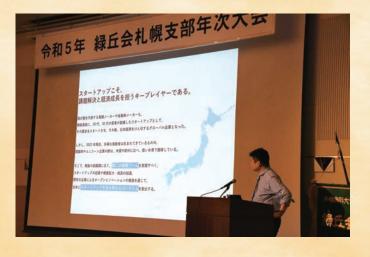
2023年

## 講演

「北海道からスタートアップを創出する 大学・高専ネットワーク『HSFC』と小樽商科大学のミッション」

小樽商科大学グローカル推進センター 産学官連携推進部門 准教授 藤江 稔(ふじえ みのる)先生にご講演いただきました。





ご来賓のみなさまからのご挨拶だけでなく、懇親会の間にはご出席のみなさんからも近況や、 ご活動のピーアールをしていただきました。

校歌と若人逍遥の歌、久しぶりにみなさんで声を出して斉唱していただくことができました。

藤江先生の講演や ご出席のみなさんからの スピーチタイム、校歌斉唱 など年次総会の様子を 動画でご紹介しています 札幌支部ホームページで ご覧ください



















■オンラインセミナー vol.7 商大卒業生の今を聞く

「超私的ライフハックハック術 &デジタル社会における生活術」

講師:前井 純一氏

平成7年卒 商業学科/伊藤一ゼミ

第7回

第8回

2023年 11月23日

(木/祝)

アメリカンフットボール部

現職:東日本電信電話株式会社 (NTT 東日本)

高校生の頃からマーケティングに興味をもって商大に入学、伊藤ゼミでマーケティングのおもしろさを学んだそうです。就職後は出向という形でさまざまなお仕事を経験されています。私たちの身近なところで前井さんが携わったシステムもあり、開発での苦労話、身についた経験についてお話いただきました。

出演

2023年

7月8日

(土)

セミナーの様子は 動画でご紹介しています 札幌支部ホームページで ご覧ください



Imformation
オンラインセミナー
vol. 8
次回開催予定

2024年3月23日(土) 14:00~

(講師予定)

菊地 圭児 氏

札幌支部 HP などで ご案内いたします

■商大演芸の会



2月の新年交礼会でアコーディオン演奏を披露してくださった 石澤佳子さんの楽しい演奏や、商大落語研究会〇Bが初登場! 浮世亭狂楽こと高木亨さんが漫談をご披露してくださいました。

司会:住出尊史(平成5年卒)・八十島忍(平成5年卒)

演奏:石澤佳子(平成7年卒)

落語:茶会家樂志 (酒井秀和 平成 9 年卒) 漫談:浮世亭狂楽 (高木亨 昭和 57 年卒)

2回目の登場となるジャズ研 OBOG バンド・ウーシャンズの演奏、初出演の青山浩之さんのギター演奏、皆勤賞出演酒井秀和さんと商大落研 OG で初登場の藤嶋早苗さんが落語をご披露してくださいました。

出演

司会:住出尊史(平成5年卒)•八十島忍(平成5年卒)

演奏:ウーシャンズ(住出尊史 平成5年卒・

酒井秀和 平成 9 年卒 • 瀬尾陽子 平成 12 年卒)

演奏: ヒロ青山(青山浩之 平成 4 年卒) 落語: 茶会家樂志(酒井秀和 平成 9 年卒) 落語: 吞家歌江(藤嶋早苗 昭和 57 年卒)

冷

次回は春頃開催予定

**Imformation** 

定

演芸の会の様子は 動画でご紹介しています 札幌支部ホームページで ご覧ください

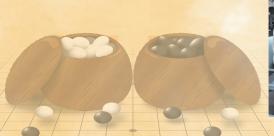


2023年 10月22日 (日)

### ■緑丘囲碁クラブ

囲碁サロン「未来」にて開催されました。前回 2019 年 11 月以来 4年ぶりの開催となり 14 名の同窓生が参加され大変盛り上がりました。







# OBS20周年

# キックオフシンポジウム開催のご報告

須川正啓 (平成18年商学部卒、平成26年OBS修了)

- ◆日 時 2023年9月9日(土) 15:00~
- ◆場 所 ホテルロイトン札幌(札幌市中央区)
- ◆参加者 OBS 教員・元教員、修了生、現役生など およそ 100 名

OBS MBA会は、今年度も多くの修了生が加入し、新たな体制のもと、さらなるパワーアップを目指しております。

OBSは、2023年4月に20期生を迎え、今年度を「OBS 20周年」という節目に位置付けております。「OBS 20周年記念事業」の一環として、9月9日(土)に大学とMBA会が連携し「OBS 20周年キックオフシンポジウム」を開催いたしました。

前半は、OBS教員である泉 貴嗣先生から「サスティナビリティ時代のMBAのあり方」についてご講演をいただきました。

後半は、「OBS の10年後」をテーマに、籏本専攻長と 修了生2名、現役生1名でパネルディスカッションを 行いました。OBSは10年後、どのような組織になって いくべきか、そしてどのような存在になっていくべき かなど、活発な意見交換が行われていました。

シンポジウム終了後は同会場で懇親会が行われました。久々に会う教員・修了生同士での近況報告、修了生・現役生との交流など、ご参加いただいたみなさんの熱いエネルギーにより、大盛会となりました。ありがとうございました。

OBS 20周年記念事業はこの後も続きます。「商学討究 (OBS 20周年記念号)」及び「OBS記念誌」の刊行を目指してまいります。2024年の発行に向けて、現在準備を鋭意進めております。ぜひみなさまのご協力をいただけましたら幸いです。

OBSのさらなる発展に向け、引き続きよろしくお願いたします。



# 小樽商科大学 ホームカミングパーティに参加して

緑丘会札幌支部 副支部長 山 谷 智恵子 (平成9年卒)

11月3日(金・祝)、商大で初めてのホームカミングパーティが、熱気と活気にあふれたイベントとして開催されました。学生サークル「緑輝星」が企画したものです。

第1部では、学生会館に40名が集まり、受付では小樽スイーツのプレゼントが用意され、緑輝星の代表青木麻耶さんの挨拶からスタート。参加者はチームに分けられ、クイズ大会が行われました。現役生しか知らないだろうと思われる問題や、商大の昔の話、緑丘会にまつわるエピソードなど、多彩で楽しいクイズが副代表大西勇樹さん司会のもとで展開され、参加者全体が盛り上がりました。その後、大学構内の見学が行われ、図書館や資料展示室ではOBの方々が昔の商大の思い出を語り合い、学内の変化や進化を実感しました。最後には現役応援団のパフォーマンスが披露され、校歌と若人逍遥の歌で1部は締めくくられました。

第2部では、場所をニュー三幸に移し、50名が円卓を 囲んで和やかな雰囲気の中、学生とOBの方々が交流し ました。小樽で起業した「小樽カヌレ蔵」や長村ゼミのコラボスイーツ、ALOHAサークルの活動紹介などあり、参加者は楽しい時間を過ごしました。

現役生は「OB・OBの方がフレンドリーで楽しかった。」と喜びの声を上げ、代表の青木さんも「ホームカミングパーティの開催は大きな目標だった。来年以降も続け、商大のビッグイベントになるよう努めていきたい。」と語りました。このイベントを通じて、現役生とOBの交流が深まり、楽しいひと時が共有されました。今後もこの輪が拡がり、商大の絆が一層強化されることを期待しています。



### 2023年度 エバーグリーン講座 日程

	講演月日	講師氏名	卒年	講演テーマ	現職等
1	9月27日	緑 丘 会:永井事務局長 実行委員会:小椋委員長 担当教員:大津 晶	1976 1983	緑丘会とエバーグリーン講座について	
2	10月4日	卒業50周年記念講座 和田健夫		小樽商大の研究力	前小樽商科大学学長
3	10月11日	田中慶太	2003	「やりたい」で社会を変える 元警察官起業家がつくる新たな仕組み	株式会社Vanguard Smith 社長
4	10月18日	中川晶子	2004	観光を基軸とした地域活性について 〜戦略策定から実践まで〜	JTB (一橋大学大学院)
5	10月25日	山下真司	1992	サス鉄ナブル、未来につなげたい製造業のDNA	JFEスチール株式会社
6	11月1日	森亮太	1980	企業としての使命と目標 〜皆さんは、どう取組むべきか〜	日本制禦機器 社長
7	11月8日	青山潤子	1986	人生はクレイジーキルトがごとく 〜IT業界から児童福祉ベンチャーへ DX推進にチャレンジ〜	株式会社be
8	11月15日	坂本信之	1960	スタートアップの勧め	元日立家電販売
9	11月22日	住出尊史	1993	出会いは一瞬、繋がりは一生、今を楽しく生きよう!	ファイザー株式会社
10	11月29日	王肖依	2006 2009	ソニーからファッション界への起業 ~マーケティングとアントレプレナーシップ~	株式会社イクシー 社長
11	12月6日	中山晴樹	1971	記紀 (古事記・日本書紀) 以前の古代日本 〜真理の探究とは〜	元松下電器・大阪成蹊大学
12	12月13日	奥山恵理	1998 2019	大企業・中企業・小企業 様々なサイズの組織を経験して	株式会社インセンブル
13	12月20日	佐々木剛	1988	銀行員という職業について	北海道銀行 取締役
14	1月10日	及川征大	2002	インド駐在を通じたグローバリゼーションとマーケティング実践、 ダイバーシティの重要性	バンドー化学株式会社
15	1月17日	担当教員:大津 晶		総括	



# わたしの 1枚

75年前。私は小樽市は水天宮の坂の下、相生町の長屋の片隅で生まれた。卒業までの22年間。小樽の街は活気のある港街であった。人口は20万人を超えていた。

デパートも3つあった。就職した横浜の会社からUターンしてからは札幌に住むことになったが頭の片隅にはいつも「頑張れ小樽!」があった。札幌で起業した会社を5年ほど前に引退した。元気一杯なのでエバーグリーン講師で語った「起業家精神」が忘れられず「頑張れ小樽!」に挑戦したくなった。

3年前息子と望洋台のジャンプ台跡にイチゴハウスを建て「おたるベリー」と称し6次化商品も作って「観光の街小樽の新しい食のコンテンツで一灯を」と夢見た。採れ始めたイチゴを使っていちごジェラートやいちごタルトを商品化し販売。幾つかの朝里川温泉の施設でも真っ赤ないちごを採用して頂いた。しかしベンチャー機はなかなか離陸できない。2023年は小樽運河100周年の年。息子が、燃料が尽きる前にもう一つコンテンツを作り観光客の皆さんの近くで活動しようと、コロナ禍が落ち着きを見せ小樽の街にも賑わいの復活が実



カヌレ専門店 小樽カヌレ蔵 本格的なフランス菓子を手頃な価格で楽しめます

感された8月下旬、小樽駅前の長崎屋さんの裏通りで「小樽カヌレ蔵」と称した「カヌレ」 専門店を始めた。8種の味。勿論イチゴ味も加え、出逢いの縁に恵まれてフランス料 理のシェフが整えてくれた。

潮まつりの屋台で参考出店し、その後も銀鱗荘で行われた将棋・竜王戦のおやつコンテスト、運河添いのホテルでのハロウィン・イベント、ウイングベイでの小樽スイーツフェスティバルに出店、そして商大多田ゼミ生が運営する嶋谷カフェとのコラボ・メニュー等々で**「頑張れ小樽!**」の実践に挑戦しています。

昭和 45 年卒 山田 二郎 小樽潮陵高校出身

※おたるベリーは23年冬の厳寒の後遺症と夏の物凄い暑さで冷暖房機器での対応も空しく 自然の力には勝てず全滅となり雪解けを待っての再検討です



#### 小樽カヌレ蔵

〒047-0032 小樽市稲穂2丁目12-5 長崎屋裏 JR 小樽駅より徒歩2分 営業時間11:00~19:00 日曜定休 お問い合わせ TEL 080-1860-2143



#### 嶋谷カフェ

〒047-0031 小樽市色内1丁目 2-18 営業時間 13:00 ~ 17:00 (L.O.16:30) 定 休 日 毎週水曜・木曜 お問い合わせ TEL 0134-64-9380



### 亡くなられた会員の皆様

(2023年6月~11月受付)

卒業年	氏	名	ご逝去日				
昭和24年	菅原	隆	2023年4月22日				
昭和26年	南部	敏和	2023年11月17日				
昭和28年	石積	章	2023年10月4日				
昭和32年	上舘	正憲	2023年9月7日				
昭和32年	吉田	克己	2023年9月16日				
昭和33年	後藤	正鋭	2023年4月7日				
昭和37年	志田	光彌	2023年6月7日				
昭和39年	伊藤	昌孝	2023年11月13日				
昭和46年	大西	正	2023年1月4日				
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)							



### 2024年4月より会費納入の新システム開始予定

手数料の負担軽減と経費削減のため、会費納入の新システムを導入します。

令和6年度より開始すべく準備をすすめております。従来のゆうちょ・コンビニでの振込に加えて、ご要望の多かった**クレジット決済**が可能になります。3年分、5年分のまとめ払いや、口座振替も継続されます。

また同じく以前から要望があった「会費一括納入」も来年度から受付を開始いたします。年齢制限なく、一括10万円を納入していただくことで以降の会費納入手続きは不要となります。

詳しくはホームページ等でご案内するほか、次回の会報送付時にお知らせいたします。

## 編集後記

私がこの編集後記を前回担当したのは2019年6月、平成から令和へと改元された直後の第107号でした。早いもので「令和」も6年、そして「緑丘さっぽろ」も第116号です。毎年2回、1月と6月の1日付けで発行され、それぞれ翌月に開かれる新年交礼会と年次大会のご案内をしてきました。

第107号の裏表紙には、翌月の年次大会総会後の懇親会で小樽&商大クイズが企画され、お子さん同伴者の為のキッズスペース、ゼミ・サークル単位の席や二次会の用意もあると記されています。次の第108号では、同様に翌月の新年交礼会の案内が前年の賑やかな会場写真と共に掲載されています。そして2月に新年交礼会が行われた直後から、新型コロナウイルスにより、不安で不自由な時代が始まりました。

コロナ禍が多くのことを変えました。人と人との繋がり方が大きく変化しました。札幌支部の新年交礼会も、中止と変則開催を経て、来月はフルスペックで行われます。参加者の高齢化や減少、当番幹事の不足、費用の高騰など、厳しい環境の中での開催となりますが、同時に同窓会そのものの在り方が問われていると感じます。多くのOBOGにご参加頂き、お知恵やアイディアをお聞かせ頂ければ幸いです。

皆さんにとって福の多い一年となりますようにお祈り致します。 札幌支部副支部長 福井 慎二(昭和55年卒)

#### 緑丘会札幌支部

電話/FAX:011-231-6900

ホームページ https://www.ryokyukai.com/

メール: ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp

#### 事務局在室日

月・火・木・金 11:00~15:00

水・土・日・祝は閉室

緑丘会札幌支部は 会員の皆様の会費によって 運営されています

年会費として3,000円を申し受けており、 皆様のご協力をお願いいたします。



# 令和6年 緑丘会札幌支部 新年交礼会

2024年2月17日土

開場12:00 開会12:30~

閉会予定 14:30

会場: ホテルポールスター札幌

札幌市中央区北 4 条西 6 丁目 電話 011-241-9111

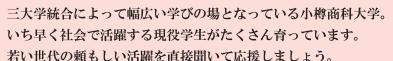
会費: 8.000円 お食事・2時間飲み放題付

2023年卒業の方無料ご招待いたします



### 活躍する商大生

# 学生起業家を招いて



曽祖父が昆布漁師という大砂さんは、「エコすぎる海藻プロジェクト」を展開。昆布漁業界では海岸に打ち上げられた 昆布やなど廃棄するものが多く、そうした廃棄される昆布に新たな価値を生み出したいとの気持ちからこのプロジェク トを立ち上げ、通常では廃棄される昆布を牛の飼料として再利用するという活動をされています。 大砂さんの他、数名の学生起業家をお招きする予定です。

大砂百恵さんプロフィール

2003年 北海道稚内市生まれ。

2019 年 文部科学省の留学促進制度「トビタテ! 留学 JAPAN」 に応募し、アメリカ・ロサンゼルスに留学。現地で 遭遇した社会のギャップに衝撃を受け、ソーシャル ビジネスに興味を持つ。

2022年 小樽商科大学に進学

学生を対象とした人材育成プログラム Ezofrogs 内で、 e-Combu を結成。廃棄/未利用昆布を活用した飼料 開発に取り組む。



懇親会ではスピーチタイムを予定しています。個人や OBOG 会活動、同期会の告知などをすることができますので、 ご希望の方は札幌支部事務局までご連絡ください!

### お申し込み締切:2024年 1月31日 (水)

事前申込の無い当日会場受付はいたしませんので必ず期日までに申込専用 WEB ページまたは FAX・郵送でお申し込みください

### 7令和6年新年交礼会 参加申込

₹

### お名前 大学/短大/大学院/ MBA 卒業年 年卒 昭和•平成•令和 メール 電話番号

ご住所

出身高校

ゼミ・部・サークル

ご勤務先

### 申込専用 WEB ページ

https://www.ryokyukai.com/2024form



FAX 011-231-6900

**〒**060-0005

札幌市中央区北5条西5丁目7 sapporo55ビル3階 小樽商科大学札幌サテライト内

緑丘会札幌支部 宛

※恐れ入りますが通信費・郵送費はご負担ください